

# これからの社会保障 ～ 地域共生社会を考える ～

鈴木俊彦さん（厚生労働省 保険局長）

## これからの社会保障～地域共生社会を考える

平成30年4月21日  
厚生労働省 保険局長  
鈴木 俊彦

1. 年金・医療・介護・子育て ～「全世代型社会保障」を読み解く
2. 格差・低所得問題への対応の枠組構築と強化
3. 各制度の縦割りを超えたシステムの構築
4. 国民が共有できる「理念」の形成
5. まとめ

（参考）拙稿『これからの社会保障 改革の「次の一手」を考える』  
（地方から考える社会保障Ⅱ（社保険ティラーレ刊）所収）

※本資料は、個人の見解により作成・構成されています。

1

## 「次の一手」を考える視点

【視点1】今後の社会経済構造の変化を見通した総合的な取組

- キーワードは「格差」「貧困」  
～ 特に留意すべきは、子どもの貧困と高齢低所得者の増大
- 年金・医療・介護を通じた低所得者支援の強化
- 「住まい」も含め、生活保障という観点に立った支援の枠組の構築

【視点2】各制度の縦割りを超えたシステムの構築～全世代・全対象型地域包括支援

- 「制度があつて人があるのではない、人があつて制度がある」
- 国民生活を支えてきた各種制度・サービスが機能不全に陥らないよう手を打つ

【視点3】国民が共有できる理念の形成 「社会保障は国民の共有財産」

- cf. 格差の拡大・固定化、Trump現象、Brexit、欧州極右勢力の台頭 etc.
- ex. solidarité（連帯@フランス）
- 「社会を覆う分断を乗り越えなければならない」 par Macron

2

**地域共生社会の実現に向けた近年の経過**

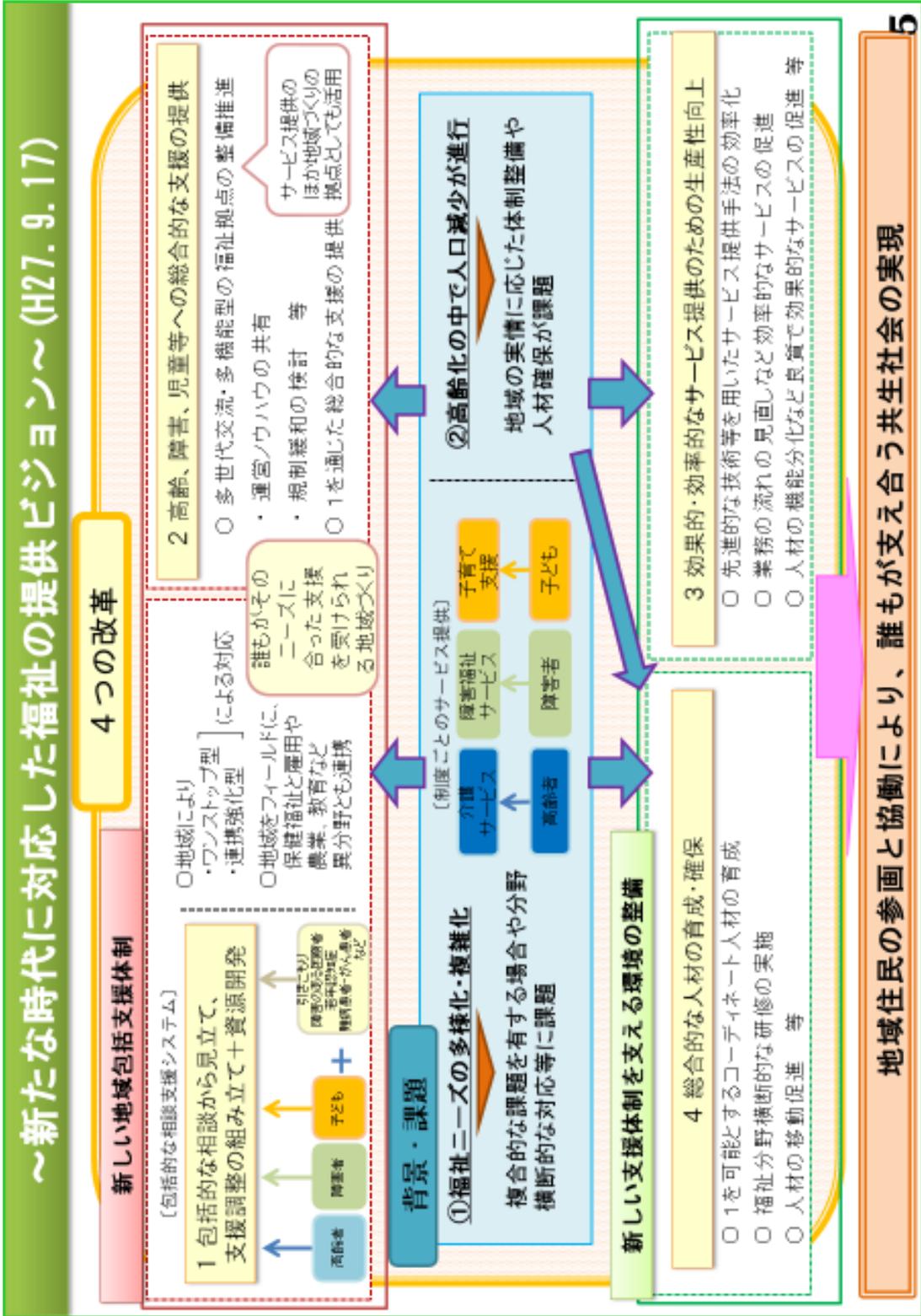
- ◆ 生活困窮者自立支援法の成立 (H25.12.13)
- ◆ 生活困窮者自立支援法の施行 (H27.4.1)
- ◆ 医療・介護総合確保推進法(\*)の成立(H27.6.29)
  - \* 地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律
- ◆ 新たな福祉サービスの提供システム等のあり方検討プロジェクトチーム (H27.6.29)
- ◆ 新たな時代に対応した福祉の提供ビジョン (H27.9.17)
  - ⇒ 「全世代・全対象型地域包括支援」の構築を提唱
- ◆ 「我が事・丸ごと」地域共生社会実現本部の設置 (H28.7.15)
- ◆ 地域包括ケアシステム強化法(\*)の成立 (H27.6.29)
  - \* 地域包括ケアシステムの強化のための介護保険法等の一部を改正する法律
- ◆ 生活困窮者自立支援法改正法案(\*) (施行5年後の見直し)の国会提出 (H30.2.9)
  - \* 生活困窮者等の自立を促進するための生活困窮者自立支援法等の一部を改正する法律案

3

**新たな福祉サービスの提供システム等のあり方検討プロジェクトチーム (H27.6.29)**

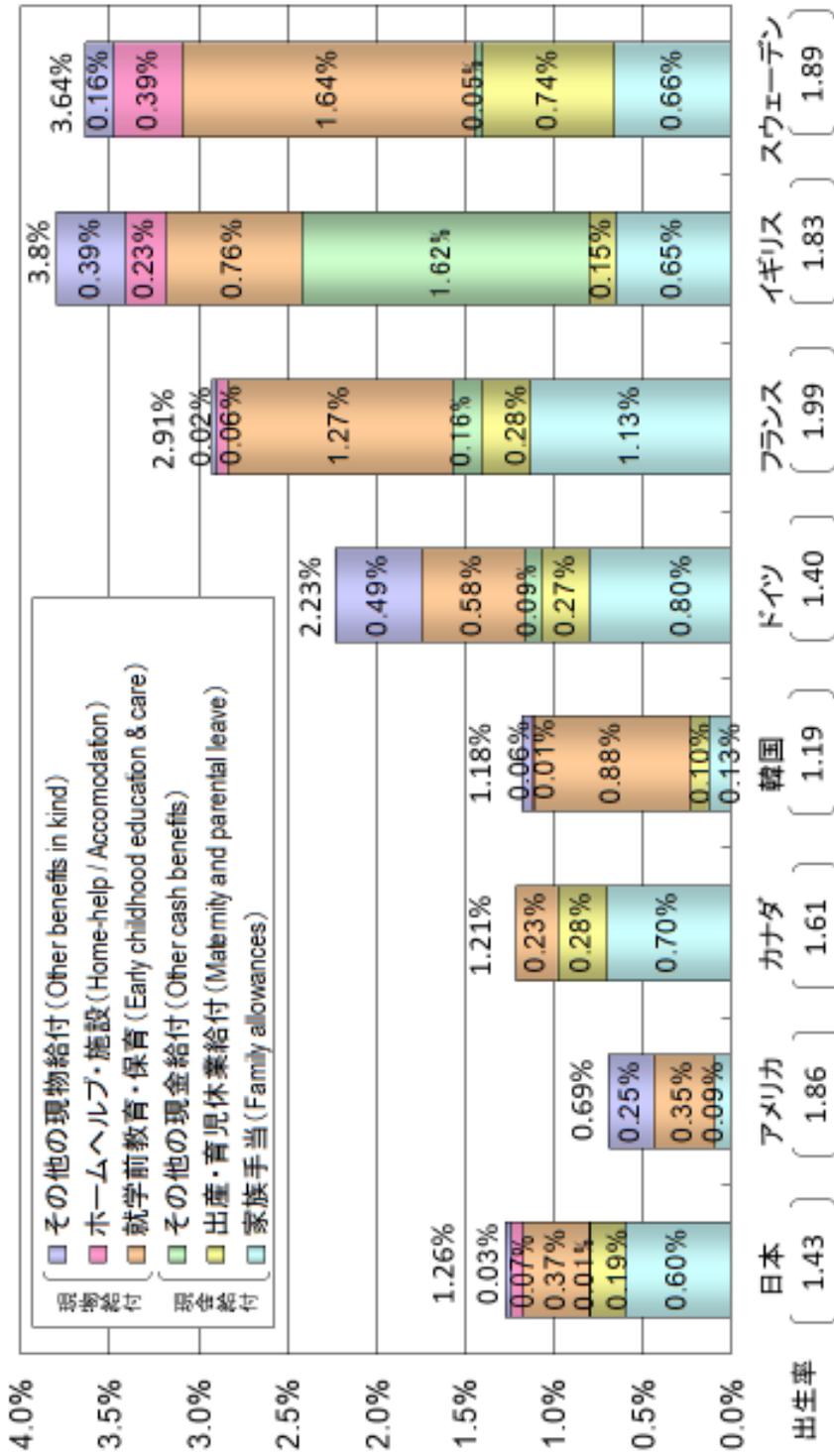
- 1. 趣旨**
  - 〔・ 地域社会の変容等 = 福祉ニーズが多様化・複雑化
  - 〔・ 人口減少 = 効果的効率的なサービス提供・人材確保が課題
  - **地域の福祉サービスに係る新たなシステムを構築する必要**
  - **3つの視点から新たなシステムの構築に向けたビジョンの策定とその具体化を検討**
- 2. 検討の3つの視点**
  - (1) ニーズに即応できる地域の福祉サービスの提供の仕組み
  - (2) サービスを効果的に提供するための生産性の向上
  - (3) システムを担う人材の育成・確保
- 3. プロジェクトの構成**
  - 〔プロジェクトの構成員〕
  - 社会・援護局長 (主査)
  - 雇用均等・児童家庭局長、障害保健福祉部長、老健局長、政策統括官(社会保障担当)
  - 〔幹事会構成員〕 (略)
  - 〔ワーキングチーム構成員〕 (略)

4





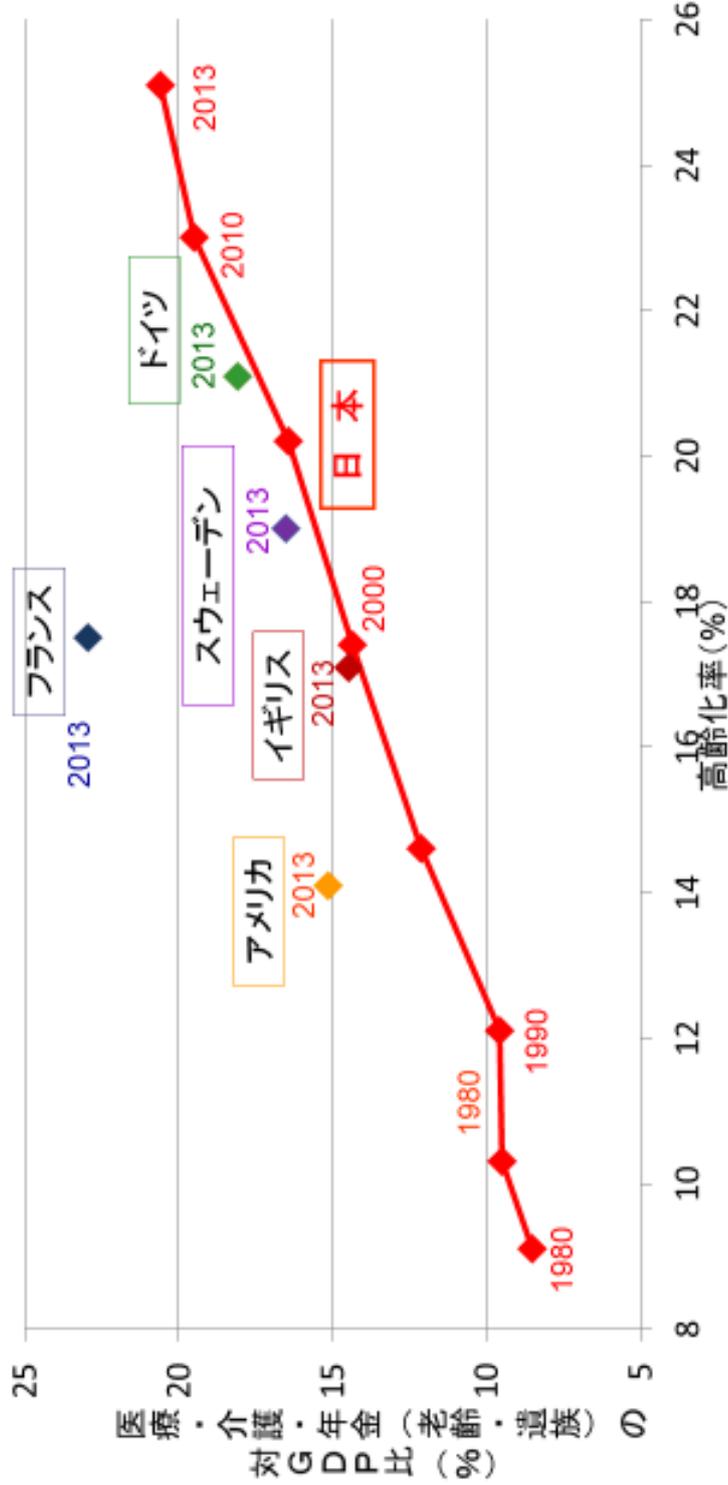
## 「全世代型社会保障」の視点 ①



※資料: OECD Social Expenditure Database 2017年1月取得データより作成  
 出生率については、2013年(ただし、カナダは2012年)の数値(日本は「人口動態統計」、諸外国は各国政府統計機関による)

## 「全世代型社会保障」の視点 ②

- 日本の高齢化率は1980年から2013年までの33年間で約16%上昇。
- この間、日本の医療・介護・年金（老齢・遺族）の規模（対GDP比）は約11%上昇。  
高齢化率を勘案すれば、先進諸国に比して、むしろ低いか又は同程度の水準。



(資料) OECD(2016): OECD Social Expenditure Database, OECD Health Statistics 2016 より作成  
医療・介護・年金(老齢・遺族)の規模は、社会支出のうち、老齢(Old Age)、遺族(Survivor)、保健(Health)の合計により算出。